

票も行われ矢吹町・中畑村との合併が議決されたのは、昭和三十年二月二十日のことでした。

また、同年三月二十三日には地理的、経済的な理由から合併を希望していた広戸村の田内地区、柿之内地区が分村、矢吹町に編入されました。

一方、当初出された信夫村、



上/町村合併関係書類  
下/合併15周年記念祝賀会（昭和45年）

大屋村との合併計画は進展をみず、具体化には至りませんでした。

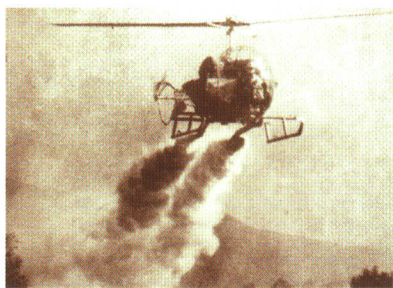
**昭** 和三十年三月三十一日、一町二カ村、広戸村の一部を

合併して生まれた町は伝統ある「矢吹」の名をとり、新たな矢吹町として誕生したのです。

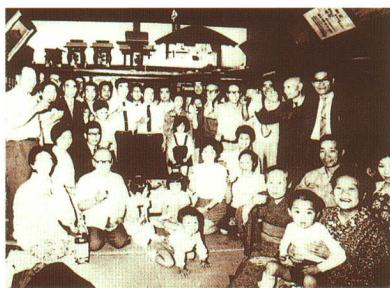
町村の自治確立のための再編成、行政組織運営を合理的、能率的にする目的で行われた町村合併。各町村の地道な話し合いや合併への署名活動も行われた合併計画は地理的、経済的な問題も噴出した。紆余曲折を経て、新生矢吹町が誕生、現在の発展につながった。

## 矢吹、時の鼓動

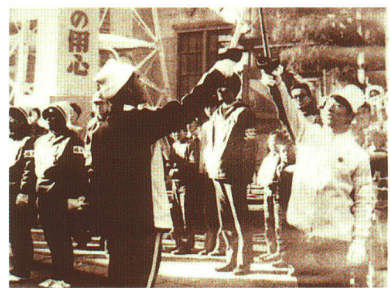
# 1955-1974



ヘリコプターによる防除（昭和43年）



仲西昌寛氏ヒマラヤ登山成功



札幌オリンピック聖火引継ぎの練習

- ▼昭和四十年
- ◆六月◇矢吹保線支区開設◆七月◇上水道工事着工（4ヶ年継続）◆十月◇国勢調査、人口15,000人
- ▼昭和四十一年
- ◆四月◇旭町・中畑新田内町道舗装
- ▼昭和四十二年
- ◆三月◇授産場新築落成◆九月◇町商店街に街路灯（水銀灯）設置◆十二月◇西白河地方衛生処理二部事務組合設立
- ▼昭和四十三年
- ◆三月◇上水道竣工◇国土調査事業（地籍調査）完了◆五月◇矢吹町章制定◆八月◇ヘリコプターによる農業空中散布実施
- ▼昭和四十四年
- ◆七月◇谷中古墳・鬼穴古墳の発掘調査◆十二月◇矢吹小学校々舎新築落成
- ▼昭和四十五年
- ◆五月◇国勢調査、人口15,006人
- ▼昭和四十六年
- ◆四月◇旧中畑陣屋の二本榎県指定天然記念物となる◆六月◇矢吹インターチェンジ設置決まる◆十一月◇おくのはそ道自然歩道（白坂明神）矢吹開完成記念式
- ▼昭和四十七年
- ◆一月◇札幌オリンピック冬季大会聖火リレー矢吹町通過◆四月◇鬼穴古墳群県指定史跡となる◇白河広域圏消防署矢吹分署開所◆六月◇国営総合農地開発事業促進協議会発足◆十二月◇町振興計画「昭和60年を目標に『さわやかな田園都市』づくりをうち出す」
- ▼昭和四十八年
- ◆五月◇矢吹中央公民館開館◆十一月◇東北縦貫自動車道（白河郡山間）開通、矢吹インターチェンジ開設
- ▼昭和四十九年
- ◆二月◇県自然環境保全地域に恩賜林と五本松の松並木決定◆六月◇下荒具古墳群を町重要文化財に指定◆八月◇第1回三鷹市とのスポーツ交流開催◇町の花に「しゅんらん」、町の木に「あかまつ」が選定される。